

向陽台病院の健康情報誌「こもれび」

Komorebi

vol.78 SUMMER 2023

60周年
記念号

こもれび

78

— 前編 —

HISTORY (前編)

医療法人横田会 沿革

向陽台病院は2023年で60周年を迎えました。
誕生してからの60年の歴史を写真と共に振り返ります。



1963

9月15日、鹿本郡植木町大字鏡田に
向陽台病院開設(病床数77床)
初代院長:横田伸治

1979

病床数220床へ増床



窓には鉄格子がはめられていますが、当時としてはかなりおしゃれで斬新なデザインでした。少しでもやわらかい雰囲気にと…という心遣いが感じられます。

広報誌「こもれび」を振り返る

2004年に創刊し、今号で78号を迎えました。
時代とともに変化してきた「こもれび」の表紙を
今号と次号の2号にわたり掲載します。



2010

「向陽台アリーナ」
(体育館)完成
職員対抗バレーボール
大会開催



近隣との交流は少なく、四季折々の行事(運動会をはじめ、田植えや夏祭り、茶摘みなど)は病院の中で行われていました。なんと敷地内にプールまでありました。



白衣の時代もありました。2000年に白衣から私服へ。責任レベルを導入し、入院から地域での生活へ、と大きく変革した頃です。「患者さん自身が自分の希望や気持ちを語るようになって、いきいきしてこられたのが印象に残っています」と当時を知るスタッフが教えてくれました。

次号へ続く

2001

グループホーム
「ひまわり」開設

2008

児童・思春期ユニット開始(11床)

2006

なでこ「指定相談支援事業」
「地域活動支援センター」開始

2007

就労継続支援B型事業
「Worksみらい」開設

2004

デイケア棟「リュミエール」



60周年を迎えて

これまで向陽台病院で一緒に働いてきたOB・OGの方々や現役スタッフにメッセージを頂きました。

1

村上 真紀 先生

東京都内心療内科クリニック
(精神保健指定医)



創立60周年おめでとうございます。また、特集号の紙面に文章を載せていただく機会をくださってありがとうございます。50周年記念誌に、医局の「ひょうたんテーブル」について書かせていただいたのが、つい先日のように思い出されます。

私は、2009年から8年間ほど常勤医師として在籍し、主に児童精神科を担当させていただきました。その後も現在まで非常勤医師としてお世話になっています。患者さんやそのご家族との出会いや、ともに治療を進める中での成長など、多くの経験を積むことができました。私の一番の思い出は、ランニング好きな職員でチームを作り、数々のマラソンやトレイルの大会へ出かけたことです。早朝に集合して大会へ向かい、終了後には温泉に寄ったりご当地グルメを楽しんだりしました。2012年の熊本城マラソンには、5人で参加しましたが全員完走感動の涙を流しました。向陽台病院で、仕事だけでなく楽しみも共有できる仲間と出会えてとても幸せです。

その後、私は上京し、少年矯正医療や医療観察法病棟での診療、薬物依存症治療などに取り組んだ後、現在は心療内科クリニックで若い方々を中心に診療しています。東京、熊本と両方で診療をしていると、それぞれの文化や生活様式の違いが、生きづらさや症状にも反映されていることに気づきます。逆に、違いから工夫のポイントが見えてくることもあります。私自身のこのような経験を含め、今後も向陽台病院で何かお役に立てればと思います。

向陽台病院が地域の方々に必要とされる医療機関であることは、60周年を迎えることが何よりもその証だと感じます。これからもそうあり続けることを願っています。

2

田上 慎也 さん

医療法人明和会 くまもと悠心病院
リハビリテーション部 主任(作業療法士)



60周年おめでとうございます。今回このような機会をいただき、大げさに聞こえるかもしれませんが、自身の精神科臨床のベースは向陽台病院で築かれたと思っています。退院支援・外来支援・児童/思春期・救急など、精神科の変革・時代の流れに合わせて先進的に取り組まれ、その変化の渦中を過ごし、臨床観から組織・運営的な思考など多くを学ばせていただきました。また、ものごとの計画・決断において、『患者様のためになっているか』を常に軸に考えることや集団力動の視点は普段からの思考に染み込んでいます。作業療法士としても、患者様との関わりや活動を通して、共に楽しみ・共に作り上げ、特にデイケアで過ごした日々と経験は大きな財産です。技術とともに人間的にも大きく成長させていただきました。現在でも、関わらせていただいた皆さんの今を想像しつつ、いつお会いしても恥ずかしくないようにとの思いで日々取り組んでいます。真面目な話ばかりですが、プライベートでもスタッフ交流など、一番公私ともに活力のある時期でしたので、様々な面で勉強させていただき、もちろん辛かったこともあります。それも含めて良い思い出です。

現在は同じ精神分野の病院で働き、対象の方は若干違いますが、最良の治療が提供できるように、お一人お一人とのやり取りを大事に楽しみながら行っています。また部門の所属長として、後輩育成やチームの成長・成果に繋がるように、喜び/悩み、前進/後退を繰り返しながら、患者様と病院双方へのより良い貢献を目指しています。

向陽台病院は現在も精神分野で先駆的な取り組みを行われていると理解しており、同職種での勉強会等での交流時には、貴院のみなさんからは常に刺激を受けることばかりです。救急・思春期等の大変重要な分野を担われ、職員はやりがいと大変さを抱えつつだと思いますが、今後の皆さまのご健勝と貴院のさらなるご発展をお祈り申し上げます。



3

池田 友一さん

合同会社New discovery
放課後等デイサービスあびりてい 代表(看護師)



開院60周年を迎えられ心よりお祝い申し上げます。

その年月の中で私自身も約13年間向陽台病院で勤めることができ、嬉しく感じております。私の中での向陽台病院とは『出逢う方々の優しさ』に触れ、『看護への熱い思い』を討論し、『看護師としての経験』を積み上げ、看護師として人として、広い視点を持ち、考えを深めるターニングポイントの場所でもありました。そして、一人一人が、様々な悩みを抱え、療養生活を過ごされる中でどのようなサポートが必要か、その時その時を私なりに一生懸命に模索しケアすることで、患者さんからも顔を覚えて頂き、微力ながらも安心した療養生活を送るサポートができていたのではないかと考えております。

その中で、患者さんとの出逢いを通し、児童・思春期の環境が大人になっても生活に大きく影響していることに気付き、『退院後はどのような環境になっているのだろう?』と地域での継続支援について考えるようになり、私の想いを形にしたいと思い、2022年(令和4年)5月に放課後等デイサービスあびりていを開所致しました。



現在は、延べ20人の子も達とのご縁があり、エネルギーな子ども達と共に成長し、充実した日々を過ごしております。多職種でそれぞれのストレングスを活かしつつ療育を行い、向陽台病院で培った看護師としてのベースを基に、思いの裏にあるものは何か、他の視点から見えるものは何か球体思考で考え、試行錯誤しながらさらに学びを深めており、私自身もより一層精進しております。

最後に、一人一人の個性に沿った子ども達の支援には専門的支援や地域連携が不可欠であり、今後とも向陽台病院のお力添えをいただけますと幸いです。

長きにわたり地域に貢献されてきた功績を讃えらるとともに、今後益々のご繁栄とご活躍をお祈り申し上げます。

4

二宮 宗三さん

いちかわこころの相談所 むすび葉 所長
(臨床心理士/公認心理師)



60周年おめでとうございます。病院を退職してからも『こもれば』を楽しみにしており、日本一の読者だと自負しています。向陽台病院の思い出を書いてほしいと言われてまず思ったのは、どの思い出なら載せられるかということでした。思い出は多いのですが、公にできるものを選ばないといけないというのはなかなか難しいことです。

ただ一つ確実に言えるのは、向陽台病院は私の臨床の原点ということです。大学院を出て最初の職場でした。植木駅を降りると、商店がボツと一軒だけあり、どこか牛の匂いもするような…。“とんでもないところに来てしまった”というのが最初の感想でしたが、覚悟を決めて歩き出したことを今でも覚えています。

働いてみると、わからないことが多く、意見を求められても答えられず、ただ黙って聞いているだけでした。そんな時、上司から「誠実な臨床をしろ」と、「ひいては患者さんのために」とよく言われていたことを思い出します。その時は自分のことで精一杯で、全くわからなかったですが、今でも大事にしている言葉であり、これが自分の原点だと思っています。

ある患者さんから教えてもらった、『オワリはじまり(かりゆし58)』という曲の中に『もうすぐ今日が終わる。やり残したことはないかい』、『かけがえのない時間を胸に刻み込んだかい』という歌詞があります。これを今でも毎日自分の中で歌いながら、やり残したことがないか振り返っています。向陽台病院での8年間は私の中で“かけがえのない時間”であり、“胸に刻み込まれた時間”であったと思っています。

今は千葉県市川市の『いちかわこころの相談所むすび葉』というカウンセリングルームで働いており、色々教えてもらったこと(飲み方も含めて)を活かして日々臨床をしています。

これからも、向陽台病院には“誠実”で“患者さんのためになる”臨床を続けていって欲しいと思っています。



60周年を迎えて

現役スタッフにはいくつかのお題の中から選んで書いてもらいました。

5

村井 愛さん

診療部 栄養科 主任
(管理栄養士・入職15年目)



●向陽台病院を漢字一文字で表すと…「変」

漢字辞典：事態が移り変わる。変化すること。普通でない。不思議、変わったできごと。思いがけないさま。

向陽台病院に勤めて15年目になりますが、今もかわらず感じるのは変化を続ける病院だということ事です。

今年も外来OT、おふらいんきゃんぷ、病棟とデイケアの合同OTの再開、情報機器持ち込みルールの見直しなど様々な試みが始まっており、多職種が知恵を出し合いながら奮闘中です。「たまには立ち止まってゆっくりしても良いんじゃない!?」と思うこともあります。患者さんに必要な治療は積極的に取り入れていく”という病院理念や周囲の支えが後押しになっています。

これからも愚痴をいったり、励ましあったりしながら、変わり続ける向陽台病院の一員でありたいと思います。

●リフレッシュ方法・趣味

私の趣味は本を読むことです。むかしは本は買うものと思っていましたが、書店で好みの本をゆっくり探すことが難しくなったため、子どもたちと一緒に近所の図書館を利用しています。2週間に1度の図書館通い。上の子は自分のペースでゆっくりと。私はちょろちょろ動き回る下の子のお好みの本を一緒に探し、子どもたちが夢中になっている間に新刊コーナーへ。今日はどんな出会いがあるかな〜とワクワクしながらササッと借りています。

熊本市の図書館のネット予約可、行きやすい図書館への取り寄せ可、1人10冊まで可。貸し出し期限2週間可。という時代にあったサービスは、私のささやかな癒やし時間の支えです。電子書籍もよいけれど、書籍でしか味わえないものを感じに図書館にいつてみませんか。

6

白石 圭子さん

法人本部 総務課 主任
(入職10年目)



●リフレッシュ!?

私のリフレッシュ法は、娘とのドライブ&ランチ!!

我が家には娘が2人いますが、予定さえ合えば3人で出掛けます。下の娘は免許を取ってやっと1年、初心者マークがとれたばかり。最初の頃は、横に乗っていてもリラックスできるはずもなく気になって気になってつつい口を出してしまいました(特に駐車場に止めようとしていて後続車が待っているとき)。楽しいはずのドライブが険悪な雰囲気…。娘に「もう何も言わないから」と伝えても、次のドライブでも「しまった!」と思ったときにはすでに遅し。同じ事を繰り返しています。

娘曰く「横で色々言われると焦って集中できない」とのこと。私なりに考えた答えが「駐車するときは目をつぶる」。

何ヶ月か経った頃には運転も上達し、今では楽しいドライブ&ランチが私のリフレッシュ!!

●座右の銘

私の座右の銘「終わり良ければすべてよし!!」

物事の過程で多少の間違いや悔しかったり嫌なことがあったとしても、最後の結果が良ければ大丈夫と思っています。最後の結果が悪ければ、「～していたら」「～していなければ」などと「たれば」な気持ちが残ってしまいます。でも、最後が良ければ途中で何かあったとしても、最後は何とか上手く終わらせることができたという上向きな気持ちになれます。性格上、嫌な事があっても眠れる人?寝て忘れる人?なので案外メンタルは強いのかも!?

これからも「終わり良ければすべてよし」でやっていこうと思います。もちろんミス無くやっていくつもりですが…。



01 外来OTを始めました！

- 月曜：運動
- 火曜：依存症ミーティング
- 金曜：依存症ミーティング／思春期プログラム

元田雄己トレーナー (Exspine fitness) から筋トレのレクチャーを受けました！



02 おふらいんきゃんぷを計画しています



- 日程 9月16日(土)～17日(日)
- 場所 国立阿蘇青少年交流の家

詳しくは、096-272-7211(担当:辻・村井)まで

動向を探る

向陽台病院を利用されている患者さんの2023年3月から5月の動向を掲載しています。

集計月	2023年 3月	2023年 4月	2023年 5月
外来延数	2,730	2,461	2,599
新患者	32	51	57
1か月ごとの入院患者数			
入院	54	41	58
退院	54	38	57

編集後記

初めての編集後記担当が開院60周年記念号とはなんと緊張するものです。この病院も人間に例えれば、還暦を迎えるわけです。暦が還るつまり十二支(ね・うし・とら・うー…ってやつ)と、甲乙(きのえ・きのと…)で始まる十干(じっかん)の組み合わせが一巡したということですね。第二巡目の人生が始まる気もします。今まで色々な人たちの手で築いてきた病院の歴史の轍(わだち)を頼りにさらに大きく未来に羽ばたこうとしています。この新たな向陽台病院の幕開けその瞬間に、ここにいる皆さんと一緒に立ち会えることを光栄に思います。(西島健司)

「こもれび」に関するご意見・感想をお待ちしています！
私たちは「こもれび」をとおして、皆さまに役立つ情報をお届けできればと作成しています。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。(広報委員会)

7

水篠 千秋 さん

看護部 北2病棟
(准看護師・入職20年目)



●リフレッシュ方法・趣味

ほぼ無趣味だったのですが、数年前から海釣り(堤防釣り)にハマっています。

私は暑がりですが寒がりという面がありますが、色々対策をしながら雨が降らない限り行く気満々の私に、釣り仲間が若干引きます。釣りの予定が立つと、数日前からワクワクしながら準備しています。どんなに頑張っても釣れない事もありますが、野良猫と遊んだり、ポーッと夜の海を眺めたりしていると、あっという間に朝になることもしばしば。朝焼けに染まる空と海も最高で、とても良い心の洗濯の時間です。帰りには、美味しいランチを食べて、身も心もマルっとリフレッシュして帰ります。あまり寝ずに釣りをしているので、さすがに疲れますが、心地よく嬉しい疲れです。

こんなに続けると思わなかったので安い竿を使っていますが、そろそろグレードアップしたいなと思っています。

●向陽台での思い出

気が付けば、入職して20年。向陽台病院に入職した時は、色々衝撃を受けました。前職も精神科病院に勤務だったため、慣れるのにあまり時間はかからないだろうと思っていましたが、責任レベルがあったり、当時は開放病棟があったり、様々な症状の方が入院されており前職場との違いが大きすぎてちょっとしたパニックでした。先輩方の対応を見ながら学び、ついて行くのに必死だったことを今でも覚えています。以前は、院内で夏祭りなどのイベントもあっており、病棟代表数名で山鹿灯籠を踊ることになった時には、緊張でどうにかなりそうでしたが、本物の衣装を着られたのがとても良い思い出として残っています。

●これからの向陽台について。意気込み

患者さんの疾患も年齢も幅広く、様々な治療に取り組んでいく向陽台病院に戸惑う事も多いですが、いままでの経験を生かしつつ、新しいことも学びながら、各病棟の特色にあった看護をしていきたいと思っています。



診察のごあんない (2023年7月現在)

月	火	水	木	金
比江島 (13:00～17:00)	比江島 (9:00～14:00)	猪山	兼氏	田仲
新堀	田仲	橘高	牧/宮崎 [隔週]	河崎
伊藤	森並	横田(晃) [隔週]	長田	武藤
		横田(周) [不定期]		

※担当医は予告なく変更になる場合がございます

祝日は外来をお休みします

- 診療科目：精神科・心療内科・児童精神科
- 病床数：198床
- 外来診療時間：月～金曜日 9時40分～16時
- 外来休診日：祝・土・日曜日

初めて受診される方へ

当院は予約制です。初めての方は、地域連携室へお電話ください。☎ 096-272-0908 (初診予約専用ダイヤル)

※地域連携室直通 (096-272-5250) は業務用となります。

電話の際、①お名前 ②相談内容 ③連絡先などをおうかがいし、予定の日時を決めます。

当日の所要時間は問診や診察、検査などを含め、2時間程度とお考えください。

病院理念

私たち向陽台病院は、地域医療のなかで安全で効果的な精神科医療を提供するために、職員の知恵を結集し、迅速かつ包容力のある対応ができる病院を目指します。

患者さんの権利

1. 良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
2. 人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
3. 自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
4. 医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを自分で決定する権利があります。
また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります。
5. プライバシーを尊重される権利があります。

交通アクセス

🚌【産交バス】向坂バス停から徒歩3分 投刀塚バス停から徒歩3分

🚗【車】植木ICから15分 北熊本スマートICから10分

🚆【JR】植木駅下車 → タクシーで6分



医療法人横田会 向陽台病院

熊本県熊本市北区植木町鐙田1025 tel.096-272-7211



当院は「情報公開レベル優良施設」として、はとはあと評価(認定3/Stage-1)の第三者評価認定を受けています。



当院は、2005年から財団法人日本医療機能評価機構の認定を受け、2020年1月に3rdG:ver2.0で再認定されました。

- 日本精神神経学会専門医研修指定病院
- 日本精神科病院協会認定専門医研修病院
- 子どものこころ専門医研修施設
- 熊本県依存症専門医療機関
- 熊本県依存症治療拠点病院



上のQRコードをQRコード対応携帯で読み込むと向陽台病院サイトにアクセスできます。